

第6章

地域別の環境づくり

本市を北東地域、南東地域、南西地域、北西地域に4分割し、地域別の環境に関する現状を整理しています。また、市民・事業者に実施した環境に関するアンケート調査と市民懇談会での検討結果を踏まえて、地域別の環境づくりを示しています。

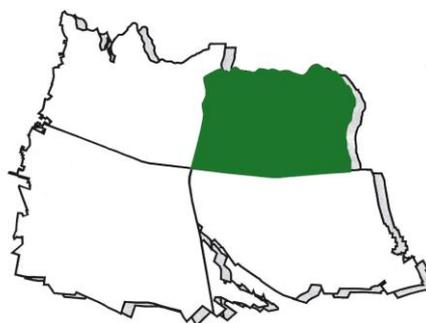
1 北東地域

北東地域は、狭山丘陵をはじめとする豊かな緑地が残り、空堀川などの水に恵まれた地域です。これらの環境は、狭山丘陵から南西地域に向かって整備している野山北公園自転車道によって、市民に親しまれています。また、北東地域には、眞福寺や萩ノ尾薬師堂、日吉神社などの歴史的文化的遺産が数多く残されています。

このようなことから、市民・事業者の周辺環境に対する満足度の結果では、市民・事業者ともに「緑とのふれあい」や「自然的風景の良さ」に対する満足度が高くなっています。一方、水辺には恵まれているものの、「水や水辺とのふれあい」、「水辺（川や水路）のきれいさ」に対する満足度は市民・事業者ともに50点を下回っています。

また、市民・事業者からは、空堀川の水量確保、狭山丘陵における不法投棄防止対策などの課題が挙げられています。

■ 位置図



■ 住所

本町 1、4 丁目、中央、中藤、神明

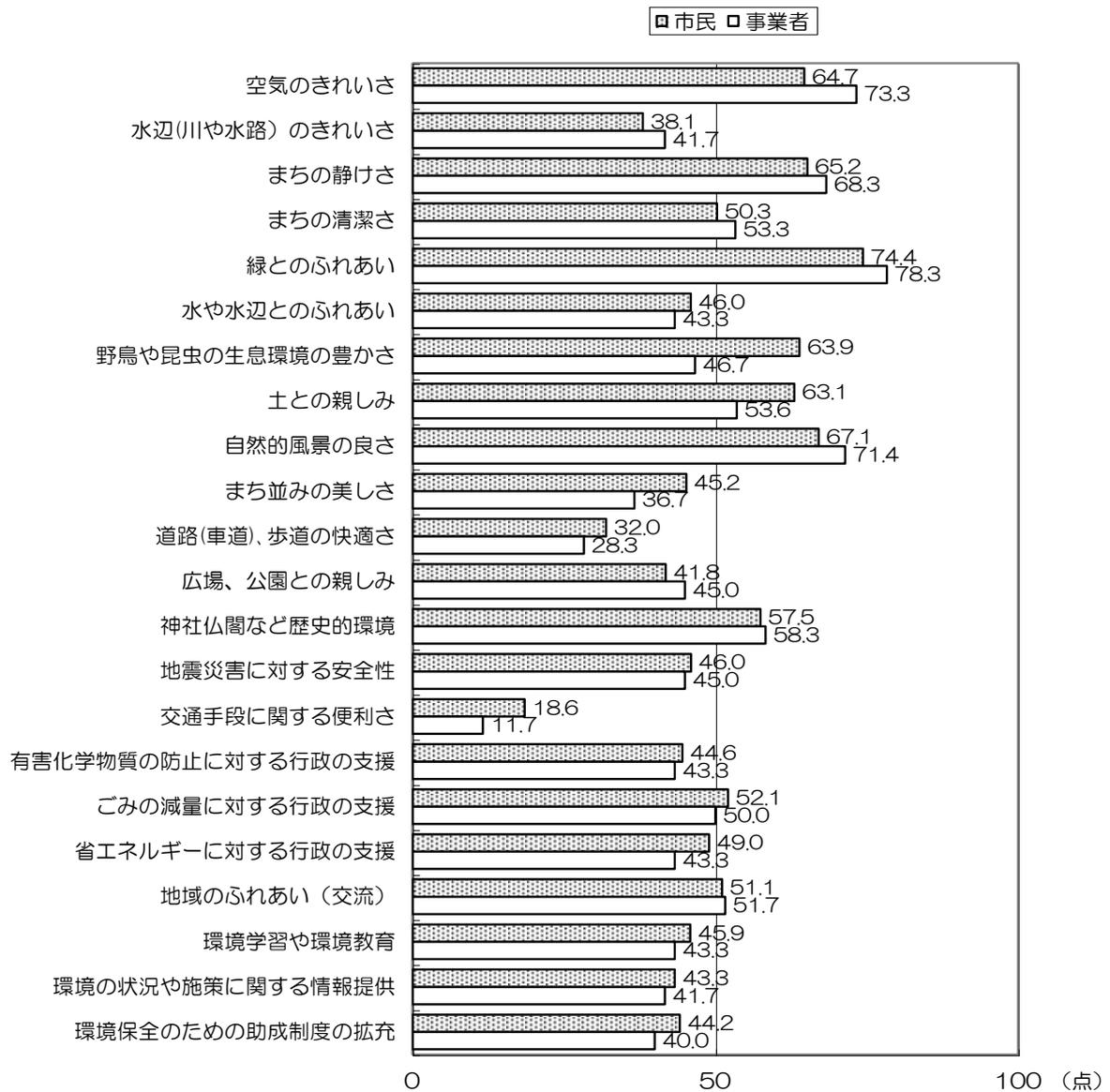
■ 人口 10,735 人
(平成 17 年 4 月 1 日現在)

● 地域別の環境づくり

上記を踏まえ、環境目標 1、2、4、6 を重視した環境づくりを進めていきます。

* 狭山丘陵の保全・活用 (⇒ 環境目標 1)
* 空堀川の水量確保 (⇒ 環境目標 2)
* 空堀川、番太池・赤坂池における水辺とふれあう場所の整備 (⇒ 環境目標 2)
* 野山北公園自転車道の整備 (⇒ 環境目標 1、4)
* 中藤公園や観音寺緑地などの整備を都へ要請 (⇒ 環境目標 1、4)
* 農地の保全・活用 (⇒ 環境目標 5)
* 安心して歩くことのできる道路整備 (⇒ 環境目標 6)
* 狭山丘陵や空堀川の景観と調和したまちなみの形成 (⇒ 環境目標 6)
* 歴史的文化的遺産の保全 (⇒ 環境目標 7)
* 狭山丘陵や空堀川における不法投棄防止対策 (⇒ 環境目標 10)

市民・事業者の周辺環境に対する満足度（環境に関するアンケート調査結果より）



備考) 5段階評価により得られた周辺環境に対する「満足度」は、「満足(100点)」、「やや満足(75点)」、「どちらともいえない(50点)」、「やや不満(25点)」、「不満(0点)」と評価点を割り当てて数値化し、その平均値で示した。

市民・事業者が考える主な課題（市民懇談会での検討結果より）

- * 生活雑排水の流入を防ぎ、魚やホタルのすめる水質を取り戻す必要がある。
- * 空堀川の水量が少ない時期は、川の汚れ(ごみ)が気になるため、水量を確保する必要がある。
- * 不法投棄禁止看板等を設けるなど、狭山丘陵における不法投棄防止対策が必要である。
- * 狭山丘陵の倒木の処理と松食虫の対策が必要である。
- * マイカーの使用自粛や低公害車の利用を推進する必要がある。
- * カラスが多くなって、朝からごみが散らかっている。
- * 住宅の壁や屋根の色について、ある程度の統一を図る必要がある。

2 南東地域

南東地域は、都営村山団地が立地するなど、市内でも人口が多い地域です。医療機関や教育機関などの公的施設が充実し、大南公園に隣接する湖南衛生組合内にある菖蒲園は市民の憩いの場所になっています。なお、現在行っている土地区画整理や日産自動車村山工場跡地の整備により、まちの環境が大きく変わろうとしています。

市民・事業者の周辺環境に対する満足度の結果では、市民・事業者ともに「緑とのふれあい」や「空気のきれいさ」に対する満足度が高く、「交通手段に対する便利さ」や「道路（車道）、歩道の快適さ」に対する満足度は低くなっています。

また、市民・事業者からは、ごみの分別やアイドリング音など、日常生活に起因する課題が挙げられています。

■ 位置図



■ 住所

榎、学園、大南、緑が丘

■ 人口

29,489人

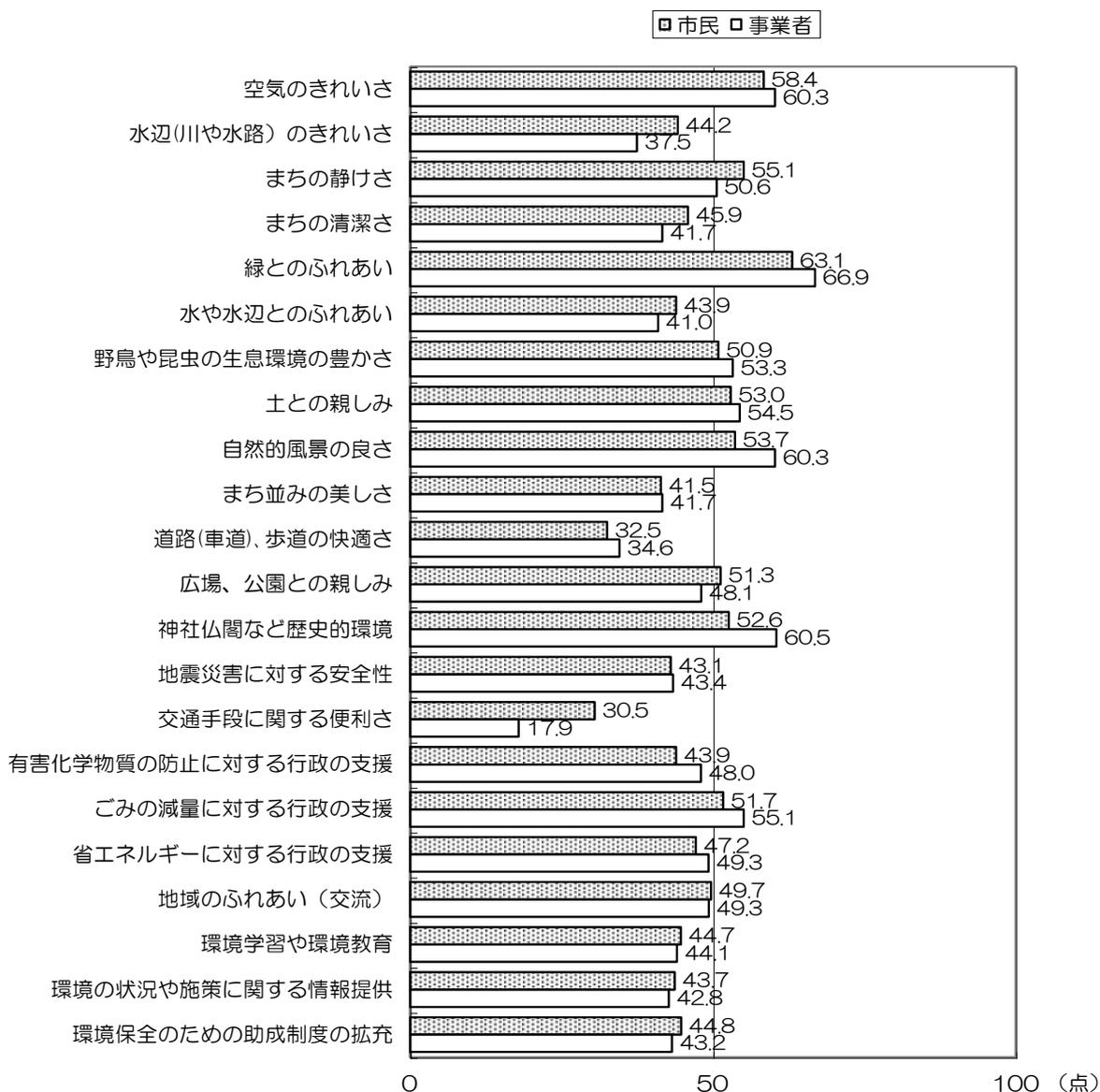
(平成17年4月1日現在)

● 地域別の環境づくり

上記を踏まえ、環境目標4、6、10を重視した環境づくりを進めていきます。

- | |
|---|
| * 大南公園、雷塚公園の整備・充実 (⇒ 環境目標4) |
| * 学園地区や榎地区に広がる農地の保全・活用 (⇒ 環境目標5) |
| * 環境に配慮した日産自動車村山工場跡地の整備 (⇒ 環境目標4、6、8) |
| * 安心して歩くことのできる道路整備 (⇒ 環境目標6) |
| * 歴史的文化的遺産の保全・活用 (⇒ 環境目標7) |
| * 農地などにおける不法投棄防止対策 (⇒ 環境目標10) |
| * ごみの分別促進など、市民や事業者の環境保全意識の向上 (⇒ 環境目標10) |

市民・事業者の周辺環境に対する満足度（環境に関するアンケート調査結果より）



備考) 5段階評価により得られた周辺環境に対する「満足度」は、「満足(100点)」、「やや満足(75点)」、「どちらともいえない(50点)」、「やや不満(25点)」、「不満(0点)」と評価点を割り当てて数値化し、その平均値で示した。

市民・事業者が考える主な課題（市民懇談会での検討結果より）

- * 収集日以外の日にごみを出す人や分別しない人がいる。
- * 村山団地、学園地区の農地等に不法投棄やごみの散乱が見られる。
- * 古い型の焼却炉では、ダイオキシン発生の心配がある。
- * 夜間、オートバイの騒音や不用なアイドリングをしている車が多い。
- * 日産自動車村山工場跡地に公園を整備する必要がある
- * 商店街では野菜等の洗浄により悪臭がする所もあるため、マナーを向上していく必要がある。
- * 買い物袋を出さない。有料化にすべきである。
- * 企業、家庭での省エネ対策を進める必要がある。

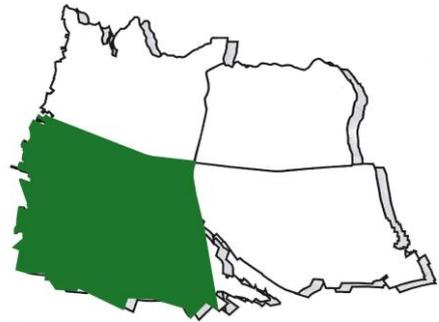
3 南西地域

南西地域は、住宅と工場が混在した市街地が形成されている一方で、多摩開墾や海道緑地保全地域などの緑が残されています。市民の憩いの場所としては、野山北公園自転車道の桜並木や残堀川自転車道の広場があります。

市民・事業者の周辺環境に対する満足度の結果では、市民・事業者ともに「緑とのふれあい」、「自然的風景の良さ」に対する満足度が高くなっています。一方、残堀川が流れているものの、「水辺（川や水路）のきれいさ」、「水や水辺とのふれあい」に対する満足度は、市民・事業者ともに50点を下回っています。

また、南西地域は、横田基地や工場が立地していることもあり、市民・事業者からは、ヘリコプター音や工場からの排煙などの影響が懸念されています。

■ 位置図



■ 住所

三ツ藤、伊奈平、残堀、中原

■ 人口 17,563人

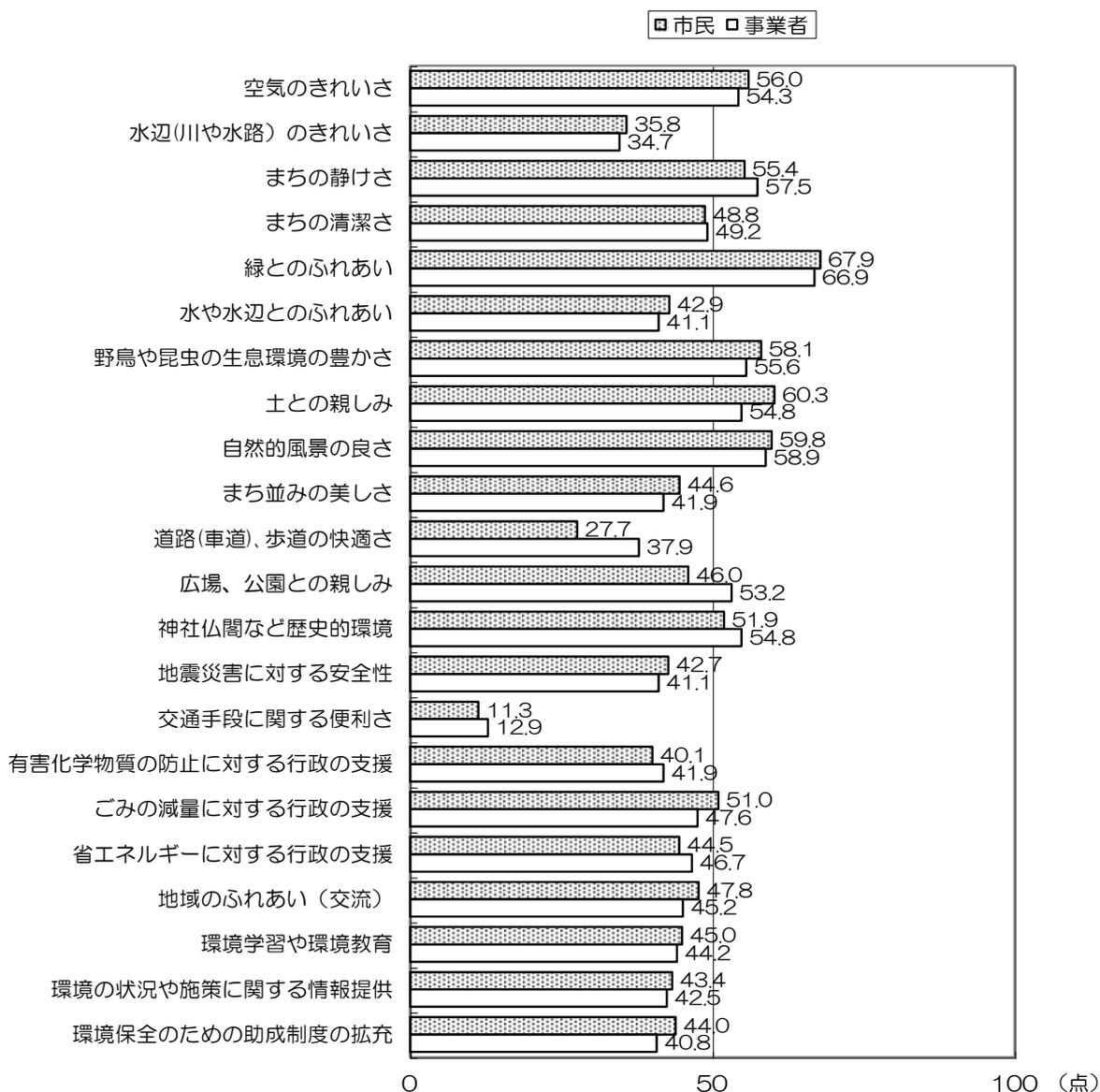
（平成17年4月1日現在）

● 地域別の環境づくり

上記を踏まえ、環境目標2、4、8を重視した環境づくりを進めていきます。

* 残堀川の水量確保（⇒環境目標2）
* 残堀川の水辺環境、緑地空間の整備を都へ要請（⇒環境目標2、4）
* 野山北公園自転車道の整備（⇒環境目標1、4）
* 山王森公園などの整備（⇒環境目標1、4）
* 公園、緑地の維持・管理の充実（⇒環境目標4）
* 多摩開墾などの農地の保全・活用（⇒環境目標5）
* 安心して歩くことのできる道路整備（⇒環境目標6）
* 工場からの排煙や排水などに関する監視体制の充実（⇒環境目標8）
* 横田基地から発生する騒音対策を関係機関へ要請（⇒環境目標8）
* 多摩開墾や海道緑地保全地域における不法投棄防止対策（⇒環境目標10）

市民・事業者の周辺環境に対する満足度（環境に関するアンケート調査結果より）



備考) 5段階評価により得られた周辺環境に対する「満足度」は、「満足(100点)」、「やや満足(75点)」、「どちらともいえない(50点)」、「やや不満(25点)」、「不満(0点)」と評価点を割り当てて数値化し、その平均値で示した。

市民・事業者が考える主な課題（市民懇談会での検討結果より）

- * 野山北公園沿いのサイクリングコースを維持していく必要がある。
- * 植樹帯、公園などの植栽、雑草など、緑の維持管理が必要である。
- * 中原地域では、一日中ヘリコプターが飛んでうるさい時がある。
- * 工場地域の排煙状況について、大気汚染等が心配である。
- * 道路幅が狭く、車線数も少ないため、渋滞が常態化している。
- * 残堀川に水がない時期がある。
- * 野焼きが行われているところがある。

4 北西地域

北西地域は、狭山丘陵による豊かな緑地が残り、禅昌寺、須賀神社などの歴史的文化的遺産に恵まれた地域です。狭山丘陵は、大部分が都立野山北・六道山公園の指定によって保全されているため、豊かな自然が育まれ、市民にとっては自然とふれあうことのできる場所となっています。

市民・事業者の周辺環境に対する満足度の結果では、市民・事業者ともに「緑とのふれあい」、「空気のきれいさ」、「土との親しみ」に対する満足度は高くなっています。一方で、北西地域は、残堀川、横丁川、久保の川が流れているものの、「水辺（川や水路）のきれいさ」、「水や水辺とのふれあい」に対する満足度は、市民・事業者ともに50点を下回っています。

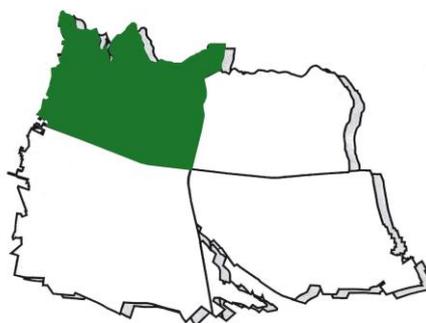
また、市民・事業者からは、川の水量が少ない、自然環境に配慮した河川整備の必要性などが課題として挙げられています。

● 地域別の環境づくり

上記を踏まえ、環境目標1、2、4を重視した環境づくりを進めていきます。

* 狭山丘陵の保全・活用	(⇒ 環境目標1)
* 河川の水量確保対策	(⇒ 環境目標2)
* 水辺とふれあう場所の整備	(⇒ 環境目標2)
* 野山北公園自転車道の整備	(⇒ 環境目標1、4)
* 身近な公園の整備・充実	(⇒ 環境目標4)
* 狭山丘陵の景観と調和したまちなみの形成	(⇒ 環境目標6)
* 歴史的文化的遺産の保全	(⇒ 環境目標7)
* 狭山丘陵における不法投棄防止対策	(⇒ 環境目標10)

■ 位置図



■ 住所

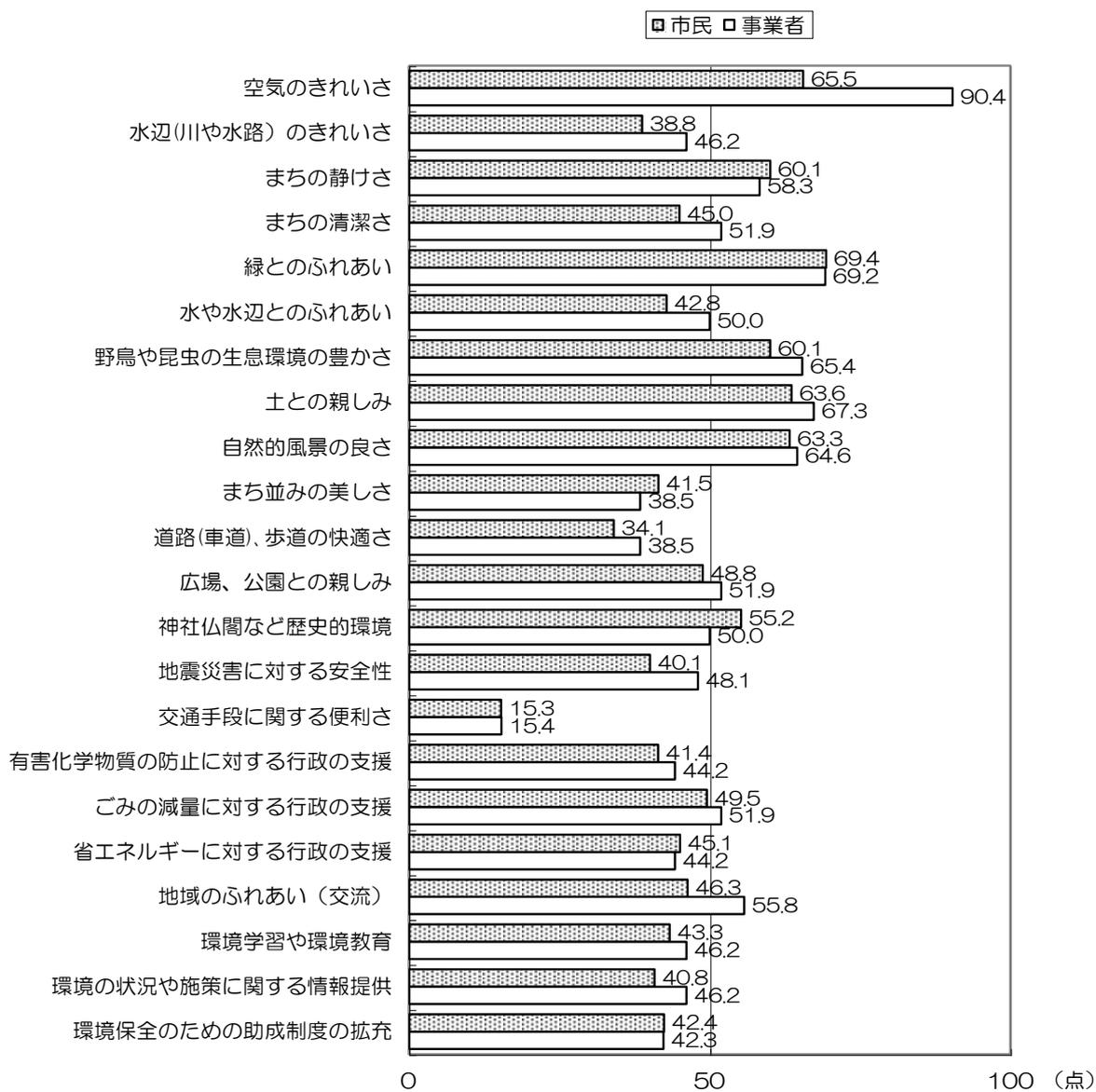
本町2、3、5、6丁目、三ツ木、岸

■ 人口

8,334人

(平成17年4月1日現在)

市民・事業者の周辺環境に対する満足度（環境に関するアンケート調査結果より）



備考) 5段階評価により得られた周辺環境に対する「満足度」は、「満足(100点)」、「やや満足(75点)」、「どちらともいえない(50点)」、「やや不満(25点)」、「不満(0点)」と評価点を割り当てて数値化し、その平均値で示した。

市民・事業者が考える主な課題（市民懇談会での検討結果より）

- * 川がコンクリート護岸のため、自然な川の流れに戻す必要がある。
- * 川の水量が少なく、雨が降らないと水が流れていない時期がある。
- * 谷戸に不法投棄が多い。
- * 狭山丘陵のふもとの緑、雑木林や農地が宅地化されていく。
- * 狭山丘陵や自転車道の桜並木をもっとPR する必要がある。
- * 希少な生き物を守る必要がある。
- * 農家朝市を奨励する必要がある。

【地球環境保全標語・ポスターコンクール作品】

【標語】



平成 18 年度 武蔵村山市立第五中学校
内山正輝さん

ゴミのない

キレイな町は 努力の証^{あかし}

【ポスター】



平成 18 年度 武蔵村山市立第四中学校
細川 亜莉沙さん

